

秋子さんの多

忙
な
日
々



はあ…

私…
どんだんダメに
なってる…

祐一さんの顔を
見る度に…

いやらしい事はかり
考えて…

う…

こんな事
名雪に知られても
したら…

あふ…

シユ…

こんな事…
絶対間違ってる
のに…

相手は
甥なのに…

んう…

シユ…

でも…
私…

―秋子さん…

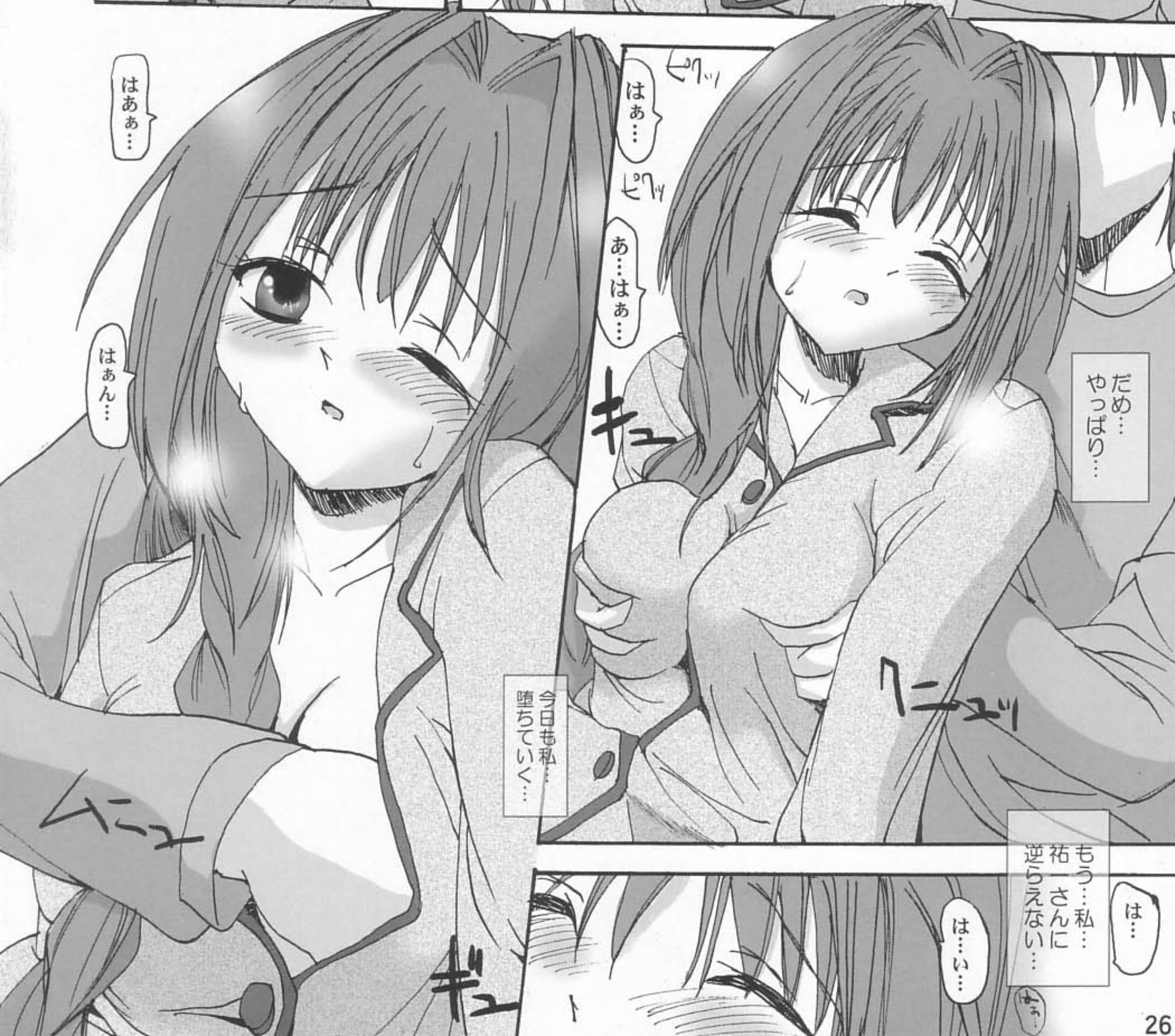


やりましうか
今日も♪

びびり...

あ...
祐一さん...

♪



はああ...

はあん...

はあ...

あ...はあ...

だめ...
やっぱ...

今日も私...
落ちていく...

もう...私...
祐一さんに
逆らえない...

は...
は...

ゆ…
祐…
さん…

なんで…私…
縛るんですか…?

やだなあ

つれないこと
訊かないで
下さいよ

…ひょう…!

いやあ…ん…

じゃあ
下着
脱がしますよー

あん…



ひっ…

やつ…うあつ
あはああ…



でも縛られて
気持ちよくなつて
るんでしょ？

こんな濡らし
ちやつて

そん…な…



あはあ…

んはあ…

あむう…

んう…



はあ...
や...あ...

んぐ

んぐ

んぐ

指...
気持ちい...
ふう...ん...

ふあつあつ
あはあ...つ

あつあ...
やああ...



ひあああ

やあ...ん...

んぐ

あうう...

は...

秋子さん...
縛られて
いつもより
感じてる...?

はー

秋子さん
縛られて感じちゃう
なんて...

んぐ...

はー...

はー...

やあ...
そんな事
言わないで...

恥ずかし...
んっ...

ちゅる...
にゅ...

ズクッ

びゅ

しゅ

ズクッ

ちゅる

はー

お願いだから
そんな...

いやあ...
それが...

やあ...ツ...
だめえ...
そんな...

大胸袖とか

やっぱり名雪にも
見せたいなあ
こーゆー秋子さん♪

もう見てん
ですけどね

名雪♪

え…？

あ…

名雪
入って来いよ！

な…ツ？

名雪…！

カキヤ

祐一さん…
どうして…

いやいや
違います！

俺じゃ
ないですよ！

まあまあ
お母さん落ち着いて

私見ちゃったの
お母さんと祐一が
エッチしてるとこ

だから祐一の
せいじゃないよ
偶然なんだから

アキ

トキトキトキトキ



祐一は私のものなんだから〜

もーひどいよお母さん〜

え…?



な…名雪…なんて事…

綺麗だよ…お母さん…

可愛い…

私と祐一で一緒にね

祐一を誘惑した罰として…

でね?



だ…だ…だめえ…

な…やめなさい…!

今夜はたつぷりとお仕置きしていっぱいエッチにしてあげようってね

お母さん…いい匂い…

あ…

A

お母さん…
料理は上手だし
何でも出来るのに…

はあ…

お母さん…
おいし…

あはあ…

はあん…

エツチだけは
奥手なんだから…



だから今日から
いっぱいエツチに
してあげる…

ひい…!

今日から
お母さんは
私達のものだよ…



お母さん…

ひああ…

本当
可愛い…

あん…
やあ…
だめえ…

ふああん…

…
気持ちいい…

こんな
声出し
ちゃって…
ずいぶん
いじめられ
たんだね…

今日は
お母さんだけ
だよ…

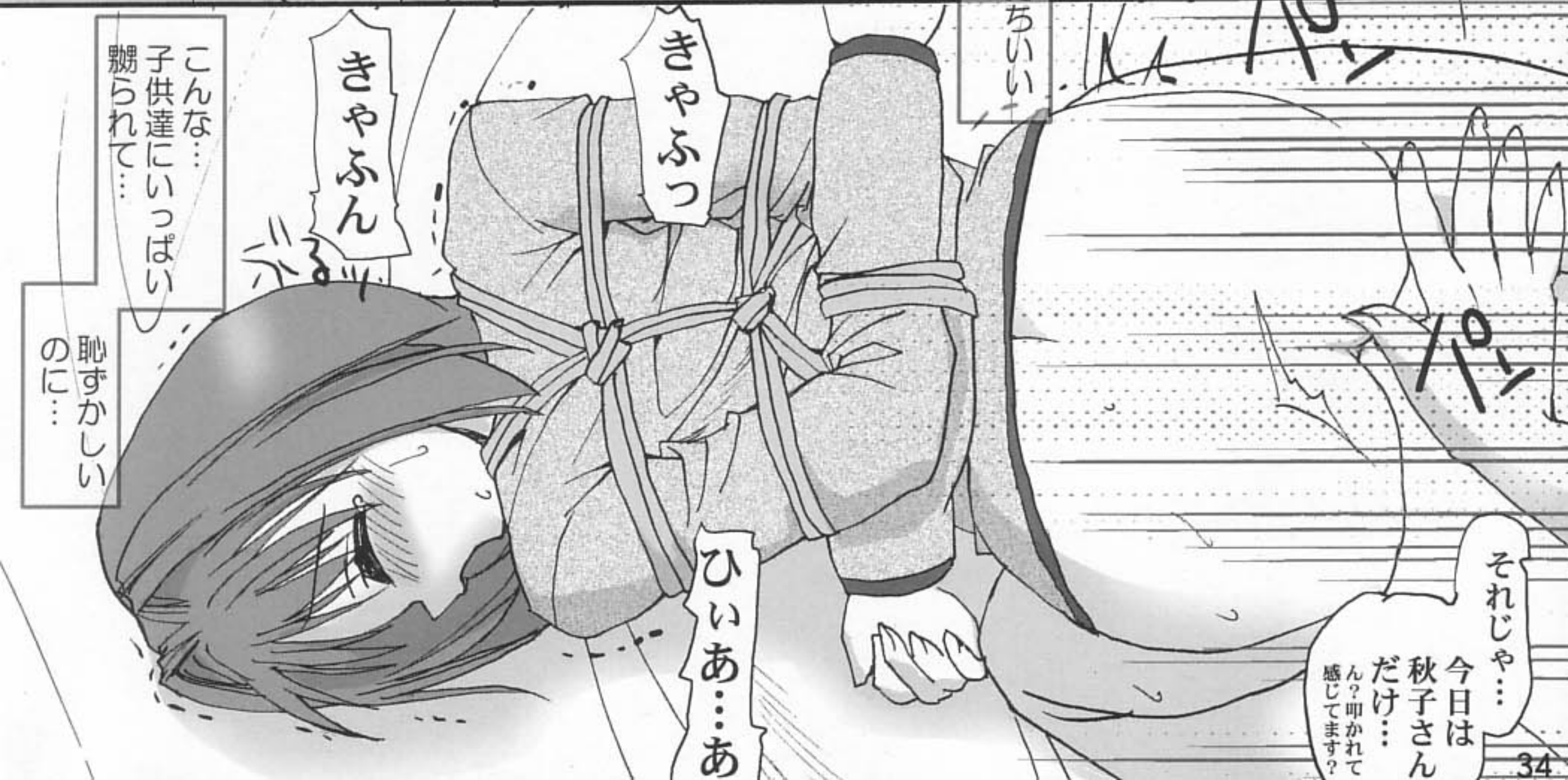
んっ…
ダメだよ
祐一…

ほら…
名雪も一緒に…

ん…

ちやほ

ちやほ
ちやほ
ちやほ



それじゃ…

今日は
秋子さん
だけ…
ん？叩かれて
感じてます？

ひいあ…あ

きやふん

きやふん

こんな…
子供達にいっぱい
蹴られて…

恥ずかしい
の…

もう
逆らえない…

あッ…

ふっ…
ふっ…

ちゅ…

んッ…

これからいっぱい
気持ち良くして
あげるから

素直にしててね
お母さん☆

…っ!

気持ちよく
なりたいでしょ?
お母さんも

…
何で私が
こんな目に…

んッ…

んんん…

でも…

うんうん♪

お母さん
上手だね

祐一も気持ち
良さそう

あ…

名雪の胸が
背中に当たって…

…名雪
一言多いよ

んう…

んくう
は…

むにゃ

柔らかくて
気持ちいい…

よいしょ…

きやつ…!

こーやって
ねえ…

…おっぱいを

な…
何…?

パイズリ
だよ

知らないの?

きゃん…

ん

あん…

あふうん…



名雪の眼の前で
挿入された
感じは...



そんな事...
言わないでえ...



ほら 名雪が
見てますって

はじっ…

や…

びしっ

ひゅっ

名雪い…
見ちゃ
やあ…っ

名雪っ…
や…やめえ…

びゅ

ひああっ…

ひっ…

ひっ…

はひゅ…

気持ち
良さそう…

お母さん…

へっ

びくっ

私も…
クリトリス
舐めてあげる…

あ…やあ…
はぐう…っ

へっ

へっ

へっ

へっ

へっ

へっ

私のあそこ
もっと舐めてえ…

あ…
あん…!

お母さん…
上手だよ…
んっ…

ん…
んぷう…

ふはあ…
んあ…

こんな…
滅茶苦茶な事
されてるのに…

お母様

お母様…

んごうごう…

私…感じちゃってる
なんて…!

んーッ…!



娘の前で
こんなはしたない
声を出して…

ひあッ…

ついでだから
お尻にも入れて
みましょーよ

や…やああ…ッ
あッああッ

ね？
秋子さん

もう私…
まともじゃない…



それに…
この二人が相手だもの…

はあ

ほら…
祐一…

お母さん…
力抜いててね…

しんうう…!!

はあッ

くはッ

あッ

お尻…

もう
どうなっても…

何されても
いいわ…

お尻い…
はうう…

お尻…
おし…り…



ひぐう...

ふああっ

すぢゃ

はあん

はううん

すぢゃ
ひいん...

くう...
締まる...

お尻い...
いい...ん



はあーい

おはーい

お母さん...
大丈夫...?

9シャッ...

私も良くして
あげる...



おっばいと
おっばい
擦りあうの...

おっばい
おっばい

ひゃ...

きやふいじ...

気持ちいい
でしょ?

私…きこつ
このまま…

…んくつ

あん…

…あふあ

ちゅぽっ

ロロ

ぷあっ…

このままするすと
落ちていくんだわ…

ひあんっ…

あ…

お母さん…
可愛い…

舐めとって
あげるね…
精液…

…二人の息

…あつたかい

ふああ…

あん…

今日は秋子さん
ずいぶん感じて
ましたねえ♪

あー…

もう…

半…

祐一さん…
名雪にもいつも
あんな事
してるんですか？

いえ…
名雪とは
フツターのH
してますけど…

まあなんつーか
お互いに余計な
性知識は
あるんですが

…あ…
今日は秋子さんで
つい試しちゃって…

いえ…
私は別に
いいんですけど…

ひよっとして
名雪にもあんな事
してるのかと
思ってた…

は…



って秋子さんは
いいんですか？
あーゆー事されて

あふ...

ええ...
ええ...



それに...
こんな気持ち
いい事...

して貰わないと
損ですもの...



あんなことでも...
名雪と祐一さんが
相手でしたら...

私は
なんであれ
幸せですから...



まったく
こんな時でも...

のんきですねえ
秋子さんは



だから...
もつといっぱい
調教してくださいね...

んふ...

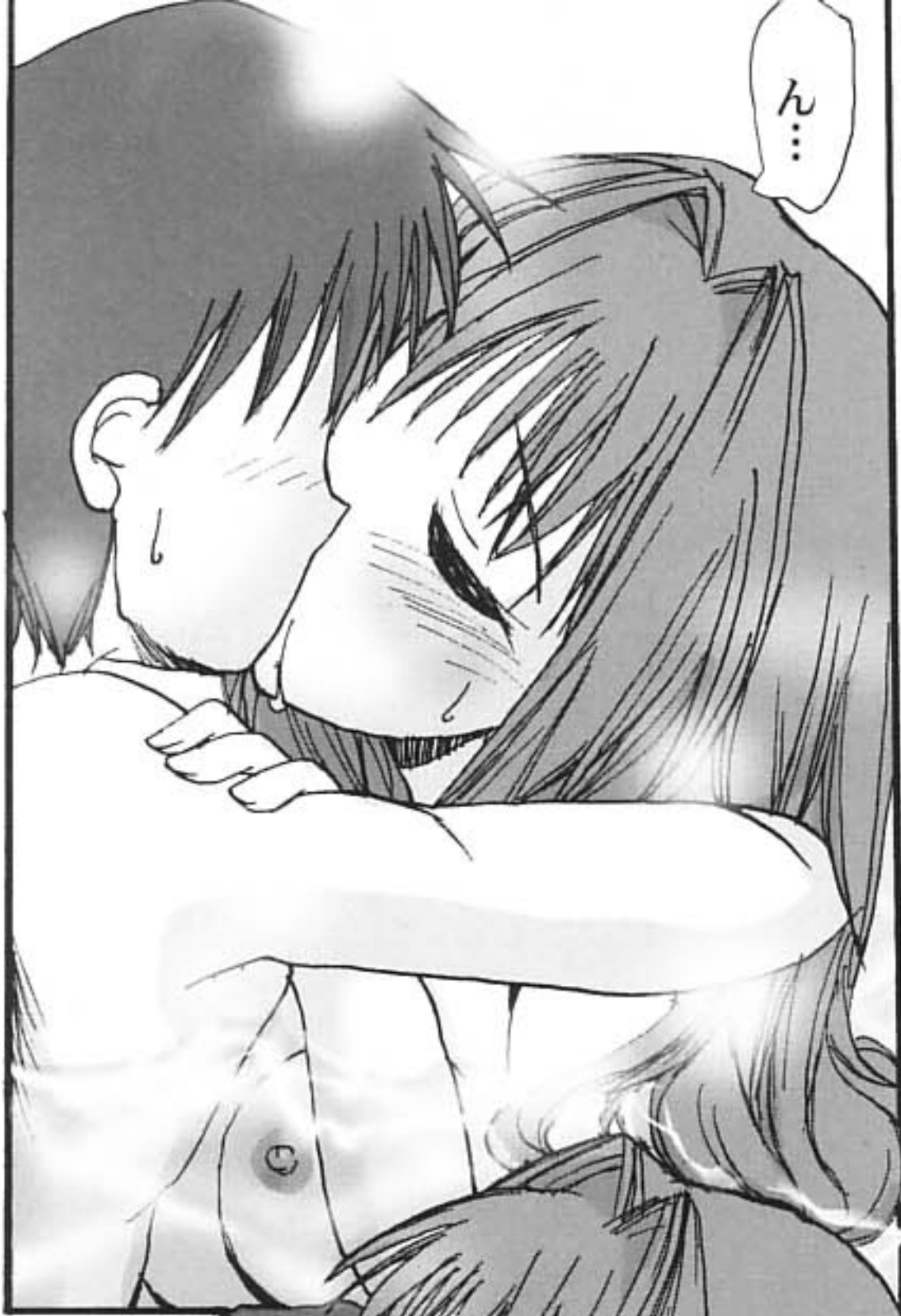
ええ
そりやあもう

秋子さんも
どんどんエツチに
なつて下さいね

調教も
ハードになるから
ついてきて下さいよ

了承

はは...



ん…



んうう…

あふらん…

ちゅ…

ちゅ…

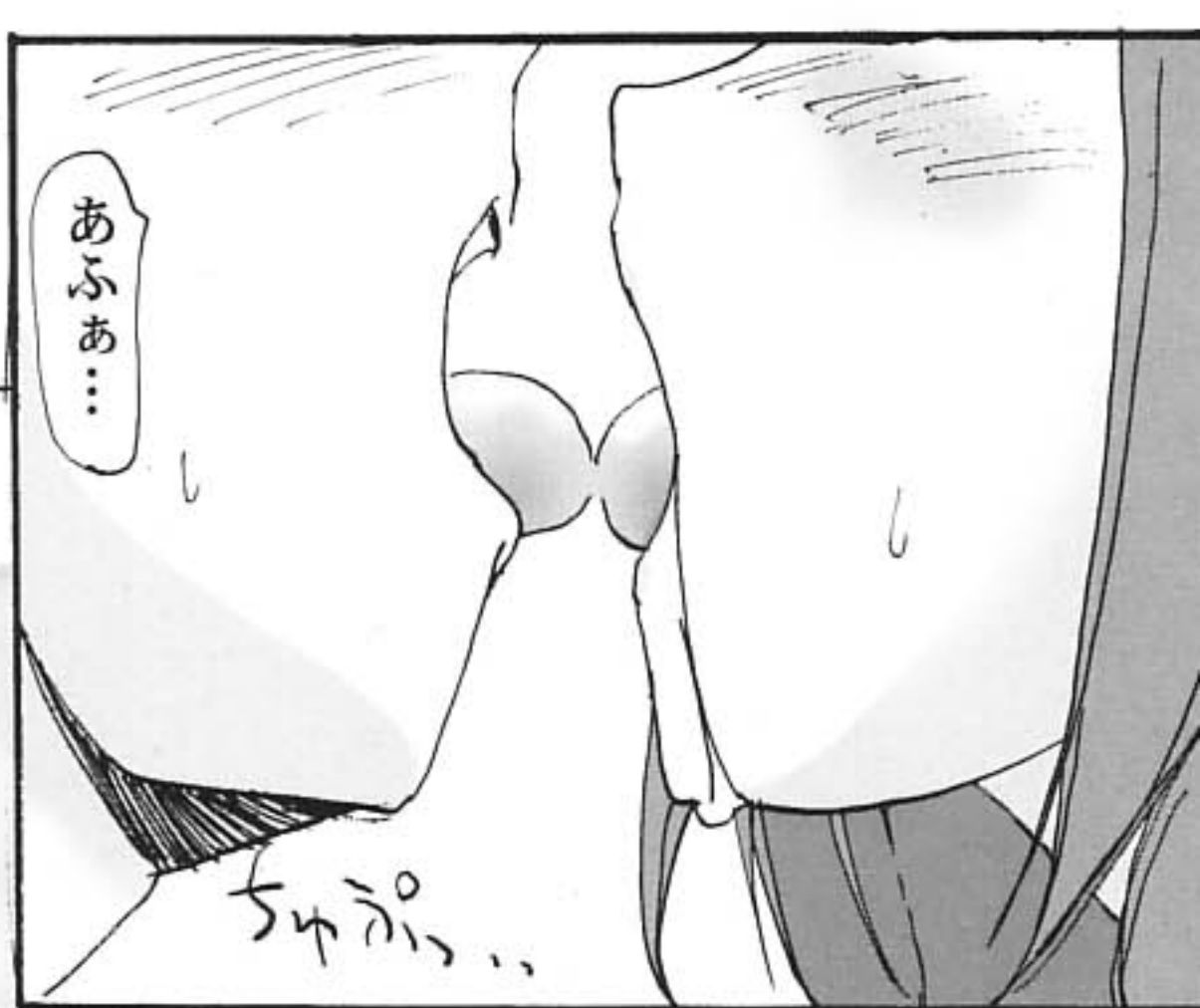


はあん…

びくッ…

いきますよ…

ちゅッ



あふあ…

ちゅっ…



あんっ…

んああ…
深あい…

これからは…
秋子さんは
俺一人だけのもの
になるんですよ…!!

ちゅッ

ちゅッ



んふ…

祐一さん…
いい匂い…

ちゅッ



今日は名雪に
邪魔されたけど…

んっ…!

ひああ

あんツ



もう秋子さんは
俺のものなんだから…

ひいひい…ツ

かは…ツ
あ…やあ…ツ

イクっ…も…
いつちやうらうツ…

俺がたつぷり
調教して…

俺しか見えないように
してあげますよ…

まは…♡

ガク
ガク

ガクガク…



あ…♡

はああ…

祐一さんの…
熱くて…

… 気持ちいい

秋子さん…!



KANON FAN BOOK

PRESENTED BY BABYBED
2002 WINTER

FOR ADULT ONLY